事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月26日更新

事務事業名		総合計画進行管理事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	2	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	八浪 生幸
	施策の柱	3	計画的な施策・事業の推進			所属班	企画広報班	(内線)	1253
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11319	根拠法令	市自治基本条例		
終了、開始年度	☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始		事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 21 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	第1次基本構想第2期基本計画は、平成23年度から27年度までの5ヵ年計画で、平成21、22年度の2ヵ年で策定を行なった。総合計画において、政策体系の施策ごとに設定した目標値に対して、実績を把握し、評価を加えて計画の進行状況を管理する。その結果を次の予算や改善に結び付け、P-D-C-Aサイクルに基づく行政評価システムの仕組みを使った進行管理（行政経営）を行う事業である。 ・ 施策目的達成度評価事務事業貢献度評価作業 ・ 施策の外部評価作業、次年度予算編成にむけた事務事業途中評価作業、事務事業次年度新規拡充事前2次評価作業、経営方針策定作業 H27年度に第2次基本構想第1期基本計画（H28～31）を策定し、新しい施行体系に移行した。 R1年度に第2次基本構想第2期基本計画（R2～5）を策定した。
【業務の流れ】	・ 前年度評価作業結果をふまえた、成果指標・目標値等の決定会議の運営、政策推進本部での施策ごとの方針決定会議の運営、計画原案検討会議の運営、原案決定を受けて、議会への説明事務、議会への最終報告事務、市民への計画周知事務ほか。 ・ 策定後は、計画実施における毎年度の進行管理
【主な予算費目】	職員手当（時間外勤務）、消耗品、印刷製本費、委託料、備品購入費
【意見や要望】	事務事業の検証をし、事業の廃止や統合を行うこと。（政策推進本部会議意見）

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		新規・拡充区分:	
令和4年度の施策の内部評価、議会への説明、総合政策審議会への諮問、HPによる市民への周知等を行った。12月議会で基本構想が議決され、新たな総合計画を策定。冊子1,000冊、概要版を28,000冊印刷し、概要版を全戸配布した。 庁内プロジェクトチームにおいて、事務事業マネジメントシート・施策マネジメントシートを変更し、行政評価における事務改善を実施した。将来都市像の変更により、周知啓発看板4か所の改修工事を行った。啓発ピンバッジを200個作成した。 【基準に達しなかった理由】総合計画の印刷製本費における入札執行残のため。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) P-D-C-Aマネジメントサイクルによる(第2次基本構想・第2期基本計画)の進行管理、進行管理にかかる市民意識調査の実施、総合政策審議会の開催	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 施策数	施策	総合計画が完成したことによる委託料の減	
→ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	ア: 人口	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)	
イ) 市の事務事業	→ イ:	人	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ア: 基本計画策定及び評価に対して出された市民からの意見数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)	
ア) まちづくりの計画策定から評価まで一連の政策形成過程に参画してもらう	→ イ:	件	
イ) まちづくりの目標達成につながる	→ イ:		
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト全体計画 ~ 年度
基本計画策定に対して出された市民からの意見数を見ることで、市民がまちづくりの計画策定から評価まで一連の政策形成過程に参画してもらう意識が測れると考え設定した。また、基本計画の目標達成している施策割合を見ることで、真に計画の目標達成に結び付いているかどうかを測れると考え設定した。			0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込		
① 活動指標	ア 施策	28	28	28	0	25	25	25	25		
	イ										
② 対象指標	ア 人	63,841	64,453	65,500	0	65,311	66,650	68,409	69,457		
	イ										
③ 成果指標	ア 件	1,363	1,121	1,200	1,064	1,200	1,200	1,200	0		
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	72	5,525	14,640	8,907	4,592	2,417	2,417	7,717
		(A) 事業費計	千円	72	5,525	14,640	8,907	4,592	2,417	2,417	7,717
		(A)のうち指定経費	千円	64	225	713	712	698	100	100	400
		(A)のうち時間外、特勤	千円	64	225	713	712	698	94	0	0
		正規職員従事人数	人	12	22	24	28	30	30	33	0
延べ業務時間	時間	1,990	2,599	9,000	2,847	1,500	1,500	9,000	0		
(B) 人件費計	千円	7,780	9,891	35,856	10,368	5,976	5,976	35,856	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,852	15,416	50,496	19,275	10,568	8,393	38,273	7,717		

事務事業名	総合計画進行管理事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 WEB回答を開始したが、回答数は増えず目標に達しなかった。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 市民アンケートによる市民からの意見は35.5%であり意見は反映できている
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度から本事業に、11480 合志市総合計画進行管理のための市民意識調査実施事業を統合する。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 総合計画の進行管理を行っていく事業であり削減の余地はない
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 令和6年度から行政評価の業務改善により事務の簡素化を図るため人件費は削減される見込
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 基本計画は市民全体のものであり、計画策定過程における市民参画、意見聴取の機会は平等であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 基本計画策定における市民参画は必要であり、多様な意見を基に策定されるべきであるが、策定作業に係るとりまとめや計画そのものを所管、管理する役割は、行政が担うべきであり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

PDCAサイクルに基づく行政経営を行なっているが、事務改善をしながら効果的な行政評価を推進していく必要がある

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善 (有効性改善) ☐事業のやり方改善 (効率性改善) ☐事業のやり方改善 (公平性改善) ☐現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>令和6年度から本事業に、11480 合志市総合計画進行管理のための市民意識調査実施事業を統合する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						